

戸畑区日本共産党後援会三ニュース

# とばたの風

## 市民の福祉とくらし守る市政へ 全力で挑戦！ 荒川 徹

北九州市議選  
1月20日告示  
29日投票



北九州市会議員  
荒川 徹

政治を変える2017年。その第一歩、北九州市議選が目前に迫りました。

自民党せいせんの北橋市長のもと、「スタジアム」建設や「下関北九州道路」推進など、北九州市はいまだ型開発を優先しています。

その陰で、年金を減額し、医療や介護の重たい負担を押し付ける国の悪政が市民の苦難にいつそう拍車をかけています。

私はムダ使いをなくし、福祉を向上させるために、これからも全力をあげます。同時に、戸畑区の高台地区での交通の確保、降下ばいじん対策など、身近で切実な要求実現にもみなさんとともに全力で取り組みます。引き続き、私を働かせてください。

第56号

2017年1月発行

発行責任者  
配川 寿好

北九州市戸畑区  
天籟寺1丁目1番15号  
Tel.873-3735  
(部内資料)

### 政治の変化が 始まっています

―市議選での日本共産党躍進でその流れをさらに―

後援会事務局長 江藤 智之



昨年の参議院選挙での野党共闘の前進、新潟県知事の誕生、東北や

沖縄での自民党の敗退など、一連の選挙結果は「今の政治を変えたい」という国民の願いと、野党が共闘すれば、必ず大きな政治の変化が起ることを示しています。

常に市民と向き合い行動する、裏切らない清潔な日本共産党議員を10人に増やすことが、「ムダ使い」を正し、市民との共同を進める大きな力になります。

そして誠実で実績豊富な荒川徹の議席の確保は、戸畑の後援会に課せられた重大な任務です。

ご支持、ご支援をいただいているすべてのみなさんのご支持の輪を、さらに大きく広げていただきますようお願いいたします。



### 市民団体も活発に運動しています

毎月11日

原発なくそう！  
再稼働ストップ！

毎月24日

消費税なくそう！

毎月19日

憲法違反の  
戦争法廃止！



### 11の間の取り組みの実績・成果

- 学校施設の耐震化が完了しました
- 高台地区の交通対策
- 議会の質問で繰り返し取り上げてきました。
- 降下ばいじん対策
- 老朽・危険空き家の対策
- 若戸大橋・若戸トンネルが来年末無料に
- ※かつて無料化裁判の原告として奮闘
- 年間400件の生活相談

### 日本共産党演説会

日時 1月14日(土) 午前10時半

場所 ウェルとばた・多目的ホール

※真島省三衆議院議員も参加します

### ヨイサ!

ここ何年も、戦前に似た社会状況だといわれてきたが、先の国会での安倍政権の横暴ぶりは、軍事政権がしゃにむに戦争に突っ込んでいった姿を彷彿とさせる。時の総理が「自分の言うことを理解しないから、議論は時間のムダ」と言い放つなど、民主主義と国会の存在意義を真っ向から否定している。しかしこの独裁者もどきの発言を危険に感じた国民はどれくらいいたのだろう。あたりまえの暮らしが突然覆されるかもしれない、そんな不気味な予感が、南スーダンへ派遣された自衛隊に「駆けつけ警護」の任務が加えられたことでさらに強まった。しかも高齢者を中心に社会保障5年で3・4兆円削減するのに、軍事費は5・1兆円に増額するというように、まさに国民の暮らしを投げ捨て、戦争する国づくりへと邁進している。こうしているうちに、もちろんそれを押しとどめようとする国民の動きは、戦前の比ではない。野党共闘とそれを後押しする市民連合なども、決して力をゆるめてはいない。それでも与党の数の力とそれを指図する軍需産業の財力に打ち勝つには、国民の生活の場から広げる運動を、野党共闘の大きな後ろ盾にしていく必要がある。▼一つひとつ丁寧な選挙を闘い、国民の声を安倍政権につきつけていこう。



# 関門海峡にもう一本 橋かトンネル 「下関北九州道路」

## 2000億円もかけて道路づくり 本当に必要ですか？

ご存知ですか？「下関北九州道路」。国はかつて本州と九州などをつなぐ6本の長大橋を建設するため、大規模な調査を行ないました。しかし、莫大な建設費がかかるうえに、採算の見通しがないためにこれを棚上げしました。

**採算性なし、ツケは誰に？**

国の試算でも、全く採算がとれないことははっきりしています。これでは、「負の遺産」をつくるばかり、とんでもありません。「あとは野となれ、山となれ」とでも言うのでしょうか。

日本共産党市議団が追及しました。現在の関門トンネルや橋が地震の被害をうけた時のルートのため確保と言いつつ、これでは全く説得力がありません。

**ムダな大型開発を削って福祉へ**

日本共産党以外はみんな推進派。市議会には、日本共産党の9人を除くすべての議員が参加して、「下関北九州道路建設促進北九州市議会議員連盟」を作って推進しています。

今度の選挙で「下関北九州道路より、市民を苦しめている高い国保料や介護保険料の引き下げを」、「保育所を増やして子育て応援を」、「子ども医療費は中三まで無料に」と声をあげましょう。

いま、安倍政権が掲げる経済政策（「アベノミクス」）で、巨大公共事業で経済を活性化すると、山口県出身の安倍首相の在任中に見通しをつけようと、地元の財界が音頭をとって大合唱が始まっています。

**予定ルートに小倉東断層が交差**

しかも、計画ルートの先には、小倉東断層があることを

市議会には、日本共産党の9人を除くすべての議員が参加して、「下関北九州道路建設促進北九州市議会議員連盟」を作って推進しています。



# 憲法違反の国を訴える

小田恭司さん (73歳) 丸町在住



戸畑生まれ。戸畑小学校、戸畑中学校、戸畑高校を経て戸畑市役所(当時)に入りました。

まもなく5市合併により戸畑区役所と変わりましたが、定年まで実直に勤め上げました。

年金受給者となったので年金者組合に加入し、勧められるま

まに戸畑支部の書記長となったところに起きたのが、3年にわたって年金を2.5%も減額するという不当な押し付けでした。

全国の年金者の怒りは収まらず、ついに裁判に訴えることになり、4500名を超える原告団が結成され、戸畑から6名が原告になりました。その一人が小田さんです。現在も係争中で、福岡地裁での公判はこれまで5回を数え、今回は1月31日に行われます。毎回の公判で最も大きい法廷を傍聴人で満席にして国民の怒りが裁判長に見えるように頑張っています。

高齢者にとってほぼ唯一の収入である年金を大幅に減らすのは、憲法違反だと多くの国民に知ってほしいと、毎月25日には戸畑駅前署名・宣伝を行なっています。

支部書記長その他、年金者組合北九協議会の事務局長、県執行委員、地区労連の事務局次長など多忙な活動の傍ら、フルマラソンに年間何度も出場するスポーツマンでもあります。

囲碁は「自称4段」の腕前だそうで、まさに文武両道。戸畑の高齢者のねがいを背に、今年もマラソンに、裁判に走り続けることでしょう。

# 境川と国境石

戸畑郷土史会会員 金丸 房男

- ① 銘文 従是西筑前国 (福岡藩)
- ② 銘文 従是東豊前国 (小倉藩)

この二つの国境石は江戸時代にそれぞれ筑前国と豊前国との境を示したものであり、福岡藩と小倉藩との国境紛争における箱崎協定によって元禄十五(一七〇一)年頃、企救郡中原村と遠賀郡中原村の間を流れる境川に建立された。当時は杭による標柱が立てられていたが、天保十一(一八四一)年の大洪水によって洗い倒され、同十三(一八四三)年に両藩によって再建されたが昭和三十二年の境川区画整理事業施行により筑前国境石は「いのちのたび博物館」に所蔵され、豊前国境石は現戸畑図書館横に移設されている。

### ① 従是西筑前国



境川の江ノ口筑前中原側に東(豊前国)を向いて建てたもので、これより西は福岡藩であることを示す石柱である。現在は、境川河口の小倉北区中井浜4-21に、小倉



昭和のはじめ頃の境川河口付近

小倉から戸畑に通じる唐津街道(中原往還)と言われる道の傍(小倉北区中井一丁目と戸畑区中原東三丁目)にある「宮川橋」付近に天保十三(一八四二)年に、小倉藩によって建立されたものである。

◆次回は境川の歴史を取り上げます。

くすりのことなら

## ふれあい薬局 戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30  
☎093-881-2332